

第9回

JIPA知財シンポジウム

経済危機を 越えて

～その向こう側にある
新たな競争環境をどう見るか、
どう対処するか～

主催: 日本知的財産協会
後援: 日本経済団体連合会 日本経済新聞社

2010年3月2日(火) 11:30～17:30
東京国際フォーラム ホールB7
受付開始11:00

参加無料

申込み締切
2010年2月12日(金)

第1部 基調論談
「経済危機後の経営環境変化と新たなビジネスモデル」

第2部 パネルディスカッション
「経営環境変化に応じた取組みと経営層とのインターリレーション」

一昨年秋に発生した経済危機の回復基調の中で見えてきたものは、先進国に加えて新興国もグローバル経済において重要な役割を担う時代の変化です。また、企業の地球環境対応等が従来以上に大きな経営課題となっており、企業を取り巻く経済環境はまさに激変の中にあるといえます。

今回のシンポジウムでは、この経済危機を乗り越えた向こう側にどのような経済環境が現れるのか、そこではどのような知財活動が求められるかについて、さまざまな視点からディスカッションを行ないます。

プログラム

- 11:00 受付開始
- 11:30 ポスターセッション
- 13:00 開会挨拶 JIPA会長 竹中 登一

13:05 基調論談

「経済危機後の経営環境変化と新たなビジネスモデル」

経済危機は企業経営に大きな影響を与えています。しかし企業は常にその先を想定し、対策を講じていく必要があります。ここでは、今後の競争環境、求められる研究開発や知財活動のあり方について、経営の最前線の方々にお話いただきます。



東 実氏
(東芝 顧問)



近藤 純子氏
(東洋炭素 代表取締役会長)



鈴木 茂樹氏
(トヨタ自動車 常務役員)



木村 靖夫氏
(野村総合研究所)

- 14:45 休憩+ポスターセッション

15:15 パネルディスカッション

「経営環境変化に応じた取組みと経営層とのインターリレーション」

経済環境、経営環境が激変する中、知財部門にも更なる変化が求められています。この経済環境・経営変化に対して、今そして将来を見据えて、知財部門は何をし、経営層と何を対話すればよいかを、各企業の事例を交えて、実務トップの方々にご議論していただきます。



鮫島 正洋氏
(内田・鮫島法律事務所)



猪之詰 毅氏
(本田技術研究所)



河野 通洋氏
(DIC)



高瀬 広文氏
(日本発條)



横山 勝氏
(パナソニック電工)

- 17:15 閉会挨拶 JIPA理事長 萩原 恒昭

JIPA専門委員会 ポスターセッション

11:30-12:55 及び
14:45-15:10

JIPA専門委員会で行っている国内外の様々な知的財産に関する課題の調査・研究、および各種提言について専門委員会メンバーがポスターを通じてご紹介致します。



※本年度はシンポジウムと同一会場で行います。

申込み方法

- 定員(800名、先着順)になり次第、締め切らせていただきます。
- 下記サイトよりお申込みください
<http://www.jipa.or.jp/form/sympo9.html>
- 申込み締切り: **2010年2月12日(金)**

お問合せ

日本知的財産協会 政策・広報G
TEL 03-5205-3433 E-Mail sympo@jipa.or.jp

会場

